

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○チームで作る介護計画とモニタリング新しい体制でスタートして取り組み中である。	月1回のカンファレンスでの気づきを全員で共有し、日々のケアの改善・職員の意識の改善につなげる。	日々の状態の観察・変化に対する気づき、本人様や家族様との会話から介護計画に反映させられる内容をキャッチし、共有するための確に報告できる力を養う。	6ヶ月
2	13	○職員を育てる取り組み積極的に推し進めているが、立地条件もあり法人内外の研修に参加しづらい。	一人ひとりが興味・意欲をもち、積極的に研修に参加する。	通知・声掛けで参加を今まで以上に促すと共に、内容により研修担当者より指名も行う。参加しやすいよう、勤務調生をできる範囲で行う。	12ヶ月
3	21	○利用者同士の関係の支援上手いかずトラブルになったり、居室内に閉じこもったりされている。	多少のトラブルがあっても、利用者様同士お互いを認め合い、会話できるようにする。孤立した存在にしない。	職員がコミュニケーションをとりながら、会話できる輪を作っていく。共有スペースにて、役割を感じていただける工夫を行う。	12ヶ月
4	49	○日常的な外出支援外出することが特別なことになっている。公共交通手段がない。公用車がいつでも使用できるとは限らない。	単調になりがちな生活を、不定期な外出によって変化をつける。	買い物・ドライブ・外食・ピクニック等を事前に(1ヶ月くらい前より)計画を立て、必要な職員を確保できる体制を整えて実行する。	12ヶ月
5	10	○運営に関する利用者・家族等の意見の反映意見箱や感想ノートを設置で意見や要望を聞くようにしているが、なかなか記入いただけない。	家族会の年間行事を増やしたり、職員全員がご家族様と積極的に会話をする。	広報や日々のご様子等を月に1回くらいのペースで家族様へ手紙で届け、全家族様にホームに関心をもっていただき、信頼関係を深め、家族様からも職員からもお互いに話しやすい関係を構築する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。